

(議案第57号)

平成30年度西浦ポンプ場建設工事(土木その2)の請負契約の一部を変更する契約の締結

西浦ポンプ場の完成

令和2年の雨季に間に合うか

問 浜田議員

平成30年度西浦ポンプ場建設工事(土木その2)は、2865万240円の増額となった。金額が多いので、工期が心配。工期の延期は伴うか。また、令和2年の雨季には間に合うか。

答 尾崎上下水道課長

現時点での工期は令和元年10月11日までとなっている。今後、ポンプ場内の掘削状況も考慮しながら、鋼矢板圧入の工期と合わせて工期の延長を行う必要がある。

また、供用開始時期は、

西浦ポンプ場建設工事(土木その2)完了後、機械設備の設置が、2・3か月と見込んでおり、現時点で令和元年度末の供用開始を目指して進めている。

(議案第58号)

木の根ふれあいの森施設に係る指定管理者の指定

問 井上(正)議員

指定管理者候補から出されている事業計画書の6年間に及ぶ資料では、人件費が事業利益より高い。しかも、指定管理料と人件費がほぼ同額の190万円となっている。

この場合の事業利益とは、必要経費を差し引く前の単なる売上高である。

このような事業計画書では、最初から人件費は指定管理料で賄う事業計画と一般常識として考えられる。

今回の指定管理申請者が適切と判断された執行部の判断材料はなにか。

答 伊東本川総合支所次長

提出されている収支計画書では収入より人件費が高く、人件費が賄えない状況になっている。

今回の指定管理者予定となっているNPO法人K2のノウハウを活用しながら収益性の高い運営を期待するとともに、持続可能な施設運営に向けて努めていきたい。

指定管理料ありきには納得できない

問 池沢議員

いの町公の施設の指定管理者制度運用指針に則り問う。

①指定期間を5年とした理由は。

②利用料設定変更の場合、条例改正の必要性は。

③指定管理料(1年間190万円)ありきでないか。町内すべての公の施設で指定管

理料を受けているものは。

答 伊東本川総合支所次長

①成果が確実に上がるように5年間とした。

②条例は、上限としてあるので利用料金の減額は指定管理者と協議を重ねる。値上げの場合は条例改正もある。

答 久松副町長

③グリーン・パークほどの(720万円)。吾北山村開発センター(912万円)。吾北育苗センター(635万円)。道の駅「633美の里」物産館(232万円)。いの町生活支援ハウス「朝霧荘」(1812万円)。

問 井上(敏)議員

この施設は、他の施設とは違い、好条件ではなく多くの集客を図れない中で、地域おこし協力隊の卒業者がNPO法人を立ち上げ、

本川地域の活性化や移住にもつなげようと情熱をもって取り組もうとしている。山村地域の活性化、地域存続のために、地域性を重んじることこそ行政として最も大切である。熱い思いに込めるべきだ。

答 池田町長

木の根ふれあいの森施設は、人との交流(観光客など)があつてこそ広がりつつなる施設である。今、人口減少が進む中で、地域存続のためにも人々が立ち寄り集える所、そういった場所を創設することが何よりも大切である。

身近な瀬戸内側(他の自治体からも)から、本川に吾北にと人を呼び込むための、一つの拠点として、地域の重要性を勘案し今回の提案である。